

8/1 はつらつステップとキラキラの笑顔で



ダンスクラブ「ジェネシス」の皆さんが、福島わらじまつりの夜を彩る「ダンシングソーダナイト」に参加しました。参加したのはクラブメンバーのほか、保護者や有志合わせて約30人の皆さんです。真っ赤なTシャツをアレンジして着こなし登場。佐藤雄二先生の指導のもと練習を重ねたステップと、キラキラの笑顔で観客を魅了しました。

◀沿道にぎっしりの観客の前で笑顔のパフォーマンス

サッカーを通して笑顔の交流

被災地支援などを行う東京都のNPO法人「ADRA (アドラ) ジャパン」といいたてスポーツクラブが、飯館中学校の校庭でサッカー交流会を開催しました。この交流会には、飯館中学校のサッカー部員とフットサルチーム「I.B.C」のメンバーらが参加。青空の下、アメリカ人学生や元プロサッカー選手・阿部博一さんとサッカーを楽しみ、交流しました。



阿部元選手（前列中央）は「今できることを全力で」とメッセージ▶

8/3 8/5 全国高校総体で健闘光る



山梨県で行われた全国高校総体（インターハイ）ウェイトリフティング競技大会に村の高校生2人が出場しました。2人は共に川俣高校3年生で、切磋琢磨し競技に取り組んできました。高橋康平選手（上飯樋）は69kg級で24位、高橋僚太選手（二枚橋・須萱）は105kg級で15位と、全国の強豪と肩を並べて闘い、高校3年間の努力を結実させました。

◀村役場で出場の報告をする高橋康平選手（右）と高橋僚太選手（7月29日）

長野県中川村に招かれて

7/25~27

「日本で最も美しい村連合」の同胞である長野県中川村から、村は被災後さまざまな支援を受けています。今年も交流を重ねてきた村民29人が、イベントや花火の打ち上げでにぎわう「どんちゃん祭り」に合わせて現地を訪れました。4年連続の訪問です。参加者たちは「情けを感じました」「いい思い出です」と歓迎に感謝を述べていました。

お別れのセレモニーにて。「また元気で会いましょう」



ひと月のできごとを
振り返ってお知らせします

7/26 東京都目黒区のフェスで村をPR



東京都目黒区の日黒区民センターで開かれた「目黒リバーフェスティバル」に「かーちゃんの力・プロジェクト協議会」と「気まぐれ茶屋ちえこ」が出展しました。さまざまなイベントが開かれる中、交流する市町村の物産を紹介するコーナーです。当日は菅野村長も駆けつけ、日頃の支援に感謝を述べ、村民と共に物産をPRしました。

◀多くの来場者が足を止めて商品を手に取りました

支援に感謝し「復興祭」を共に

7/31

村役場出張所にほど近い飯野町商店街「UFOストリート」で「がんばっぺ!ホコ天 飯館・飯野復興祭」が開かれました。この催しは今回で36回目となる飯野の夏の風物詩。避難以来イベント名に村の名前を入れ「復興祭」として開いていただいています。屋台や出し物、抽選会などに多くの村民が訪れて、祭りを楽しみ、飯野町の皆さんと交流していました。

飯野町と村のフラダンス愛好者が合同でフラを披露（飯野町郵便局前にて）

